

CASBEE® 新築[簡易版]

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版)2008年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.3.2)

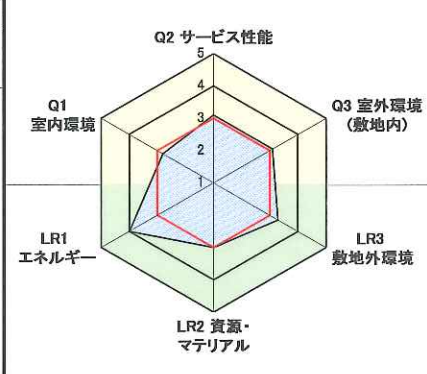
1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	T-プロジェクト建設工事	階数	地上3F
建設地	京都府京田辺市大住細畑1番1他34	構造	S造
用途地域	工業専用地域	平均居住人員	1,000 人
気候区分		年間使用時間	6,300 時間/年
建物用途	事務所, 工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2011年9月 予定	評価の実施日	2010年9月25日
敷地面積	121,586 m ²	作成者	真鍋安博
建築面積	26,790 m ²	確認日	2010年10月6日
延床面積	43,303 m ²	確認者	松岡 亘

外観/パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

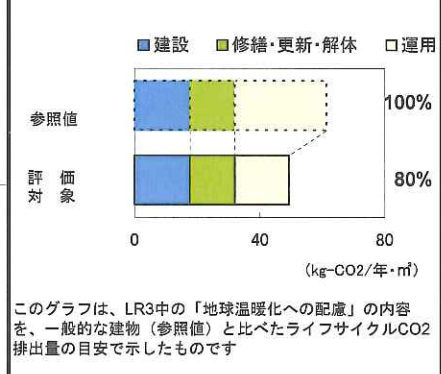
2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



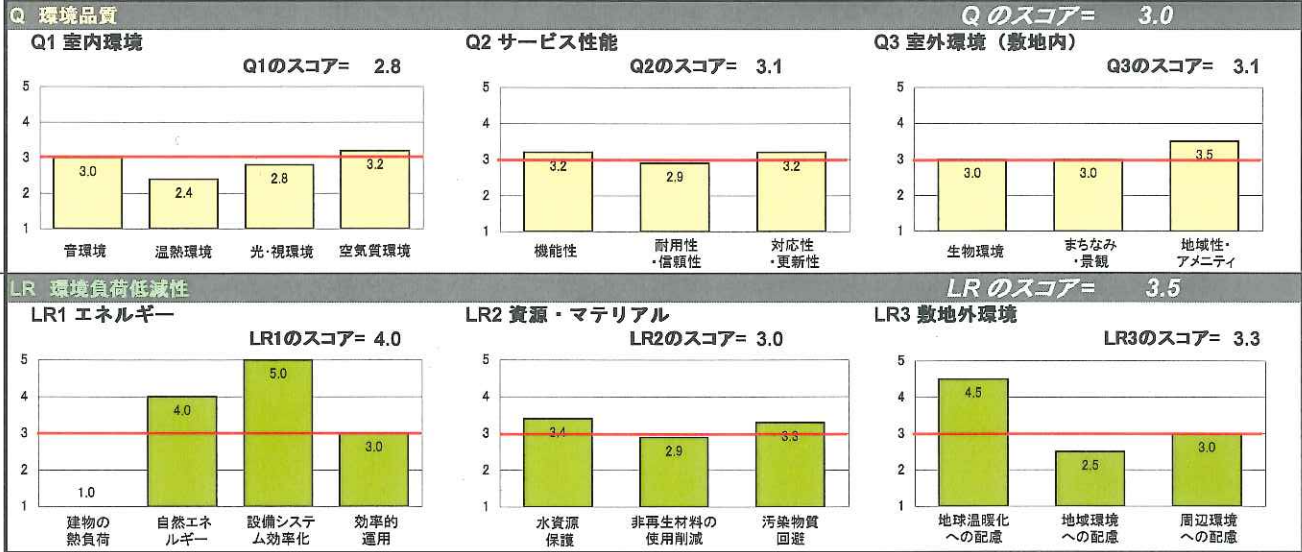
2-2 大項目の評価(レーダーチャート)



2-3 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)



2-4 中項目の評価(バーチャート)



3 設計上の配慮事項

総合	その他
注) 設計における総合的なコンセプトを簡潔に記載してください。 食品関連の包装材料の印刷工場としてふさわしい衛生管理に適合する仕様とし、既存工場及び周辺地区の自然環境との調和を図った。	注) 上記の6つのカテゴリ以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。
Q1 室内環境 注) 「Q1 室内環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 衛生管理に適合する工場として、外部「テラーズ」の分離、汚染物質の侵入防止、防虫対策を行った。	Q3 室外環境 (敷地内) 注) 「Q3 室外環境 (敷地内)」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 「大住工業地区地区計画」に沿って、周辺環境との調和を計り、敷地周辺に緑地帯を設けると共に、工場の玄関廻り
LR1 エネルギー 注) 「LR1 エネルギー」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 室環境の最適化を実現するため、建築仕様と、電気・衛生・空調における機器選定を省エネ性能の高効率仕様を実現を図った。	LR3 敷地外環境 注) 「LR3 敷地外環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 雨水の流出抑制として、調整池を整備し、周辺への流出施設を整備する。 敷地周辺への車輛の滞留が無いよう、敷地内に十分な駐車
Q2 サービス性能 注) 「Q2 サービス性能」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 工場の各所に従業員の為のリフレッシュコーナーを設け、労働環境の向上を図った。	LR2 資源・マテリアル 注) 「LR2 資源・マテリアル」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 リサイクル製品を積極的に採用する。 上水道の使用量を最小限となるよう器具の選定を図った。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
 ■LCO₂の算定条件等については、LCO₂算定条件シートを参照された